

令和 6 年 5 月 29 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。のロゴマーク完成

9 月 28 日（土）にオープンする、ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。のロゴマークが完成しました。

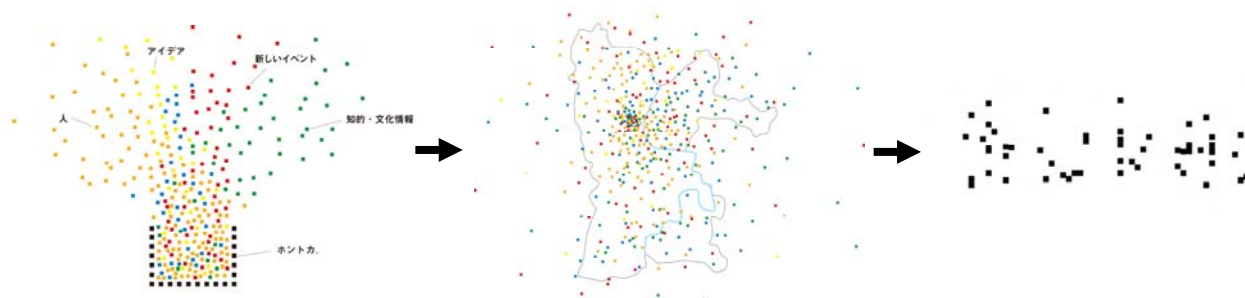


小千谷市ひと・まち・文化共創拠点

デザインは、グラフィックデザイナーの平野篤史さん（アフォーダンス(株)）によるものです。本施設の建築を手掛けた平田晃久さん（(株)平田晃久建築設計事務所）からこの建築に対する考え方や経緯をお聞きしながら作成されました。

■コンセプト

多様な人・情報・文化がホントカ。に集まり、掛け合わせることで新しいアイデアや活動が生まれ、まちに広がっていく状態を物事の最小単位である点（ドット）で表現しました。さらに、自然豊かな小千谷の風景に、雪が自然に降り積もり出来る、うっすらとした雪景色の状態も表しています。



■施設活用例



エントランスホール／風除室イメージ

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市にぎわい交流課 担当／土田・田中
TEL : 0258-82-2724 FAX : 0258-82-8915 E-mail : hontoka@city.ojiya.niigata.jp

令和 6 年 5 月 29 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

－ 温室効果ガス削減に向けた取組を推進－ 再生可能エネルギー由来の電力を導入します

当市では、令和 5 年 3 月に改訂した「小千谷市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」において、温室効果ガスの排出削減目標を「2030 年度までに 2013 年度比で 50%削減」として取組を進めています。

この度、市役所や小・中学校など 35 施設で利用する高圧電力に再生可能エネルギー由来の電力を導入します。

今後も、計画の目標達成のため様々な手法で再生可能エネルギー導入量の拡大を図っていきます。

■導入する施設／市役所庁舎、小・中学校、総合体育館など 35 施設

■導入時期／令和 6 年 6 月 1 日（土）

■電力の内容／非化石証書（※）による 30%実質再生可能エネルギー由来電気

※非化石証書：再生可能エネルギーなどの非化石電源から発電された環境価値を証書化したもの

■電力使用量／年間約 850 万キロワットアワー

■導入効果／年間約 1,900 トン-CO₂ の排出削減効果が期待されます。

電気料金は、年間で 920 万円（△3.7%）の削減効果が期待されます。

■電力供給事業者／ミツウロコグリーンエネルギー(株)

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市環境共生課脱炭素推進係 担当／田邊・斎藤

TEL：0258-83-3566 FAX：0258-83-8664 E-mail：kankyo-dt@city.ojiya.niigata.jp

令和 6 年 5 月 29 日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

第 3 回「おぢやつつみ ^{ウィズ} ^{ウィッシュ} WITH WISH.」を実施

進学で親元を離れ、夢の実現に向け頑張る小千谷の学生を応援し、小千谷とのつながりや地元に対する愛着を深めるきっかけとするため、市外に住む市内出身の学生に小千谷産品を送付する「おぢやつつみ WITH WISH.」の第 3 回発送を実施し、学生からの申込の受付を開始します。この事業は、市内企業より協賛いただき、官民一体で実施しています。今年度は、新たに事業の趣旨に賛同いただける市民の方からの寄附を受け付けます。

◆目的／1. 郷土愛の醸成 2. 就労支援 3. 強固な関係人口増 4. 食育
5. 保護者の負担軽減

◆対象者／市内出身者で実家を出て生活している市外在住の学生
(大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・高等学校など)

◆申込方法／右記二次元コードから申込み

◆申込期間／6 月 16 日 (日) まで

◆お届け品／米・食品などの小千谷産品

◆発送時期／7 月中旬予定

◆その他

○現在、小千谷商工会議所青年部様より御協力いただき、
小千谷産品の選定を行っています。

○第 2 回 (令和 5 年度実施) では、311 人の学生に新米やそば、
米菓などの小千谷産品を送付しました。

◆市民の方からの寄附について

○申込方法／右記二次元コードから申込み。

書類での申し込みは企画政策課窓口で受け付けます。

○申込期間／11 月 29 日 (金) まで

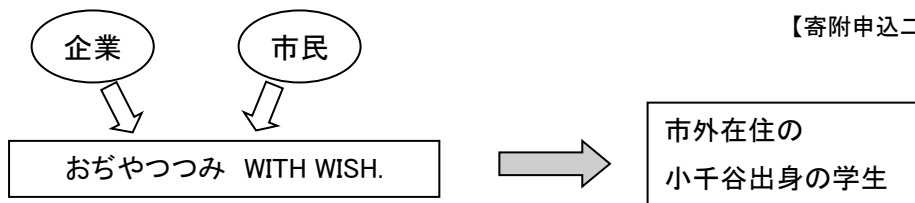
○注意点／返礼品はございません。



【申込二次元コード】



【寄附申込二次元コード】



本件に関するお問い合わせ先／小千谷市商工振興課地域産業係 担当／岩田・須田

TEL : 0258-83-3556 FAX : 0258-83-2789 E-mail : syoko@city.ojiya.niigata.jp

令和 6 年 5 月 29 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

U・Iターン就職支援事業

小千谷西高等学校と阿部幸製菓株式会社による防災食品開発の実施

U・Iターン就職支援事業の一環として、小千谷西高等学校の生徒が地元企業と連携して商品開発を実施します。商品開発を通じて、生徒は市内企業の理解を深めること、市内企業は生徒との接点を構築することを目的とします。

■連携学校／小千谷西高等学校 3年生

■連携企業／阿部幸製菓(株)

■商品開発テーマ

中越大震災から 20 年の節目として、防災への意識を高めるため、地震を経験していない生徒とローリングストック可能な防災食品の開発を行う。

■授業カリキュラム

生徒は「調理」と「ビジュアルデザイン」の 2 班に分かれ、小千谷西高等学校「総合」の授業において開発を進めます。企業の商品開発担当者のアドバイスを受けながら完成を目指します。

- (1) 調理では、味のクオリティを高めるため、企業指導のもと生徒自ら試作と試食を 3 回繰り返して、防災食品の味を決めていきます。
- (2) ビジュアルデザインでは、防災食のイメージを覆すパッケージにするため、市場のパッケージを研究し、防災食品のパッケージデザインを決めていきます。

■成果発表イベント

- (1) 味とデザインについて、2 候補のうち 1 候補に決定するコンペを開催します。
7 月 22 日 (月) 小千谷西高等学校 (城内 3-3-11)
- (2) 完成した防災食の試食会を開催します。
10 月 7 日 (月) ホントカ。(予定) (本町 1-13-35)
- (3) 完成した防災食の発表会を開催します。
12 月 16 日 (月) ホントカ。(予定) (本町 1-13-35)

■その他

市は商品開発の様子を就職支援サイト「ぼっぷわーく」等を通じて情報発信することにより、市内企業への就職促進を図ります。

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市商工振興課 担当／岩田・小川

TEL : 0258-83-3556 FAX:0258-83-2789 E-mail : syoko@city.ojiya.niigata.jp

令和 6 年 5 月 29 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

「おぢや健康こいこいポイント事業」と 新潟県「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」が連携します

市では、楽しみながら運動習慣の定着や健康行動の習慣化に取り組めるよう、「おぢや健康こいこいポイント事業」を平成 28 年度から実施しています。

この度、新潟県が実施している「にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業」と連携し、事業周知、両事業のポイント連携、アプリの活用等を行い、若い世代の参加拡大や市民の運動習慣の定着など、より一層の取り組みを推進していきます。

■市事業概要

- ・ 健診受診や体力測定会・運動教室等の対象イベントへの参加
- ・ 自分に合った運動習慣の継続
- ・ 県アプリへの登録・参加等によりポイントを貯め、30 ポイントを貯めたら参加賞のほか、抽選で「おぢやの特産品」の景品が当たります。

■市ポイント対象期間

令和 6 年 6 月 1 日（土）～令和 7 年 2 月 28 日（金）

■県との連携開始日

令和 6 年 6 月 1 日（土）

■県との連携内容

- ・ 県マイレージ事業のアプリで貯まった 100 ポイントを「おぢや健康こいこいポイント 5 ポイント」に交換
- ・ 両事業の広報協力（広報媒体、アプリを用いた周知、イベント時の周知等）
- ・ アプリ機能を活用した歩数イベント競争等の実施

▶にいがたヘルス&スポーツマイレージ事業

詳細(県ホームページ)



本件に関するお問い合わせ先／小千谷市健康・子育て応援課 担当／林・高野

TEL : 0258-83-3640 FAX : 0258-82-8964 E-mail : kenko-kz@city.ojiya.niigata.jp

令和 6 年 5 月 29 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号

市内学校・園共通「みんなで作ろう減塩メニュー」の提供について

第 4 期小千谷市食育推進計画の重点目標である「望ましい食習慣を理解し、実践する」の実現に向け、市内保育園、認定こども園、小学校、中学校および総合支援学校の給食で「みんなで作ろう減塩メニュー」を提供するとともに、保護者に「おぢや食育だより」を配信します。

- **目的**
 - ・子どもたちやその親世代の「望ましい食習慣」の理解・実践を促すため。
※「望ましい食習慣」とは、「朝食を毎日食べる」、「主食・主菜・副菜を組み合わせる」、「食塩を控え、野菜をしっかり食べる」。
 - ・子どもたちやその親世代が今のうちから、濃い味付けでなくてもおいしく感じられる減塩習慣の確立を目指すため。
- **対象** 小千谷市内の保育園、認定こども園、小学校、中学校、総合支援学校の児童・生徒及びその保護者（保護者へは「おぢや食育だより」の配信）
- **提供日** 6 月 19 日（食育の日）前後の 1 日（学校・保育園ごとに異なります）
- **内容** みんなで作ろう減塩メニュー（市内全学校・園共通）
「白身魚のハーブチーズ焼き」
説明：ガーリックやバジルを使用する等、減塩のアイデアが詰まった学校給食で大人気の魚を使ったメニューです。食塩は控えめながらも、風味豊かで満足感のある味わいで、家庭でも簡単に作ることができます。保護者にレシピや健康情報を掲載した「おぢや食育だより」を配信します。
- **その他** 6 月 17 日（月）午前 11 時 30 分より、岩沢保育園（岩沢 764-1）にて宮崎市長が園児と一緒に減塩メニューを試食します。

令和6年5月29日

報道機関各位



新潟県小千谷市役所
小千谷市城内2丁目7番5号

認知症高齢者見守り隊講座を開催します

認知症の方の傾聴（話し相手）のためのボランティアを養成する講座を開催します。認知症は年々増えており、誰でもなり得る身近な病気のひとつです。認知症になっても周囲が正しく理解し、見守り、支えることで住み慣れた地域での暮らしを続けることができます。認知症の方にとって話し相手がいることは、地域とつながり続け、本人の気持ちを安定させるだけでなく、介護者の支援にもつながり、孤立や虐待を防ぐこととなります。

◆講座日程・内容

日時	内容	講師	会場
6月25日(火) 午後1時30分 ～3時	【認知症を理解する】 ○認知症とその対応 ○高齢者の安心と安全～虐待の予防～	○認知症キャラバンメイト ○地域包括支援センター職員	サンラック おぢや 大ホール
7月2日(火) 午後1時30分 ～3時40分	【認知症の人を支える】 ○『傾聴』 ～相手の気持ちを受けとめるように聞き合い、お互いの理解を深める方法～	ONHK 学園「傾聴講座」監修者 (アクティヴリッスン) 澤村 直樹 氏 【オンライン研修】	
7月9日(火) 午後1時30分 ～3時	【認知症の人の気持ちを理解する】 ○介護者からのメッセージ ○認知症高齢者見守り隊(笑和会)の活動紹介 ○ボランティアの基本	○介護者 ○認知症高齢者見守り隊(笑和会)会員 ○社会福祉協議会職員	

- ◆参加無料
- ◆申込期限／6月17日(月)
- ◆申込先／福祉課高齢福祉係

本件に関するお問い合わせ先／小千谷市福祉課 高齢福祉係 担当／平澤・牛木
TEL : 0258-83-3517 FAX:0258-83-4160 E-mail : fukushi@city.ojiya.niigata.jp

令和 6 年 5 月 29 日

報道機関各位

新潟県小千谷市役所
小千谷市城内 2 丁目 7 番 5 号**小千谷絵紙保存会、小千谷市主催事業
絵紙のまちの浮世絵展「四季之絵～浮世絵と小千谷の春夏秋冬～」**

雛祭りに絵紙（浮世絵）を飾る風習のある小千谷には、たくさんの浮世絵があります。今回は春夏秋冬を描いた浮世絵を展示します。小千谷の四季を感じる昭和頃の写真とともにお楽しみください。

■日時／6月22日（土）～7月15日（月・祝）

午前9時～午後5時 ※水曜休館

■会場／小千谷市民学習センター「楽集館」1階 展示室（上ノ山4-4-2）**■内容**

<展示資料概要>

【浮世絵】

小千谷市、小千谷絵紙保存会等で保有する、春夏秋冬を描いた浮世絵

【関連資料】

小千谷の四季、年中行事に関する昭和頃の写真や紹介パネル、イラスト

<会期中のイベント>

展示解説：民話語りと年中行事の解説

日時／6月29日（土）午後2時～

講師／「小千谷語り部の会」、小千谷市学芸員

■入場無料**■主催**／小千谷絵紙保存会、小千谷市ようしゅうちかのぶ
揚洲周延「別荘の螢」
明治24年

本件に関するお問合せ先／小千谷市文化スポーツ課 担当／新保・久保田

TEL：0258-82-9111 FAX：0258-82-9112 E-mail：bunkasports-sg@city.ojiya.niigata.jp